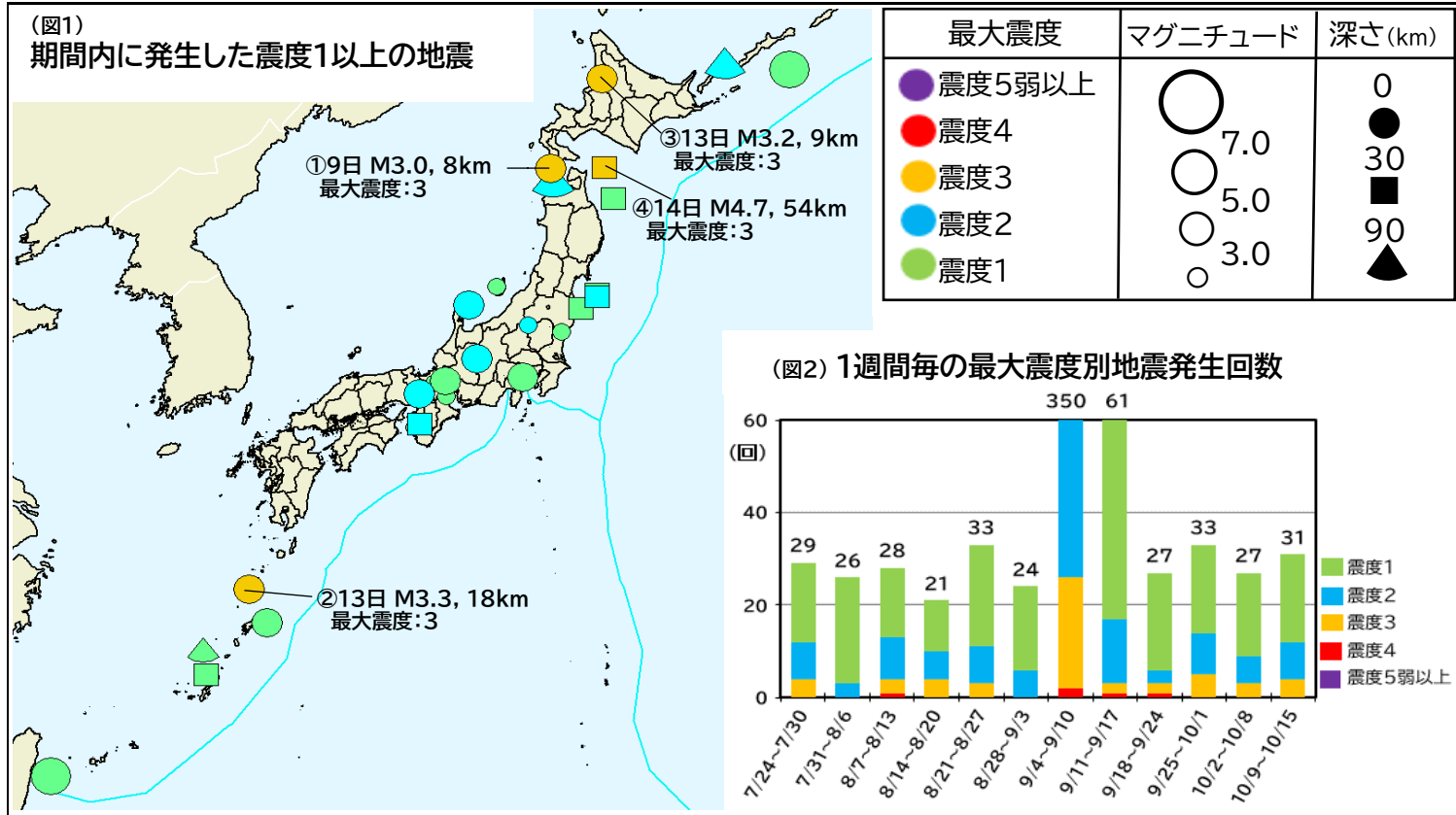


この期間の最大震度は3 鳥島近海で津波発生

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

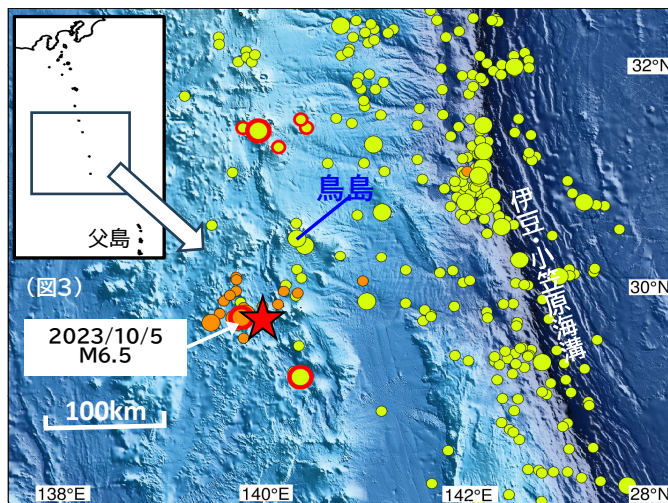


主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が31回発生。最大震度は3。鳥島近海で津波発生 ■
- ①10月9日23時42分に渡島地方西部で発生した地震(M3.0、深さ8km)により、北海道福島町で震度3、松前町で震度1を観測。
- ②10月13日03時39分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.3、深さ18km)により、鹿児島県十島村悪石島で震度3を観測。この付近では9月8日から地震が頻発したが現在は少ない状況で、震度3を観測したのは9月19日以来。
- ③10月13日16時54分に留萌地方南部で発生した地震(M3.2、深さ9km)により、北海道小平町で震度3、幌加内町で震度1を観測。
- ④10月14日11時29分に青森県東方沖で発生した地震(M4.7、深さ54km)により、青森県東通村で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2~震度1を観測。

トピックス

- 鳥島近海で発生した津波 ■
- ・前号でお知らせしたとおり鳥島近海(鳥島の南西約100km)では、10月2日以降、地震活動が活発な状況が継続している(図3)。
- ・一連の地震活動のなかで、5日に津波が発生し八丈島で0.3mの津波が観測された。さらに、9日にも津波が発生し八丈島で0.6m、千葉県館山市で0.3m、宮崎県日南市で0.2mの津波を観測するなど、伊豆・小笠原諸島や千葉県から九州・四国地方にかけての広い範囲で津波を観測した。
- ・5日に発生した津波は、同日10時59分に鳥島近海で発生したM6.5、深さ17 kmの地震によって発生したことが分かっているが、9日に発生した津波の発生要因は不明(気象庁)とのことです。
- ・通常、津波を伴う地震はM6の半ば程度以上ですが、9日に津波が発生した時間帯には、小さな地震活動はあるものの、通常、津波を発生させるようなM6半ば程度はもとより、それよりも小さいM5や4程度の地震も観測されていないようです。
- ・しかし、この時間帯に規模が小さく震源が決まらないものの、T相と考えられる波を伴う地震が少なくとも14回発生している(気象庁)とのこと。
- ・T相とは、海底の浅い所で発生した地震や海底火山の噴火に伴う振動によって音波として伝わる振動のことで、海底で発生した現象を推定するために用いられる観測項目のひとつであり、海底噴火時に観測される特徴のひとつとも言える。今後も揺れを伴う地震がなくても津波が起きることがあるので注意したい。



震央分布図 1960年1月~2023年10月14日 M \geq 5.0 深さ \leq 60km
 ● 1960年1月~2023年10月1日に発生した地震
 ● 2023年10月2日~2023年10月14日に発生した地震
 ○ 上記2つの期間の中で、津波を観測した地震
 ★ 9日の津波に関係すると考えられている地震の発生位置